機 械 設 備 工 事 発 注 概 要 書

年度		令和8年度			工事概要	屋外設備工事	給水設備	○	
工事名		名古屋大学(東山)4号井戸整備工事					排水設備	○	
工事場所		愛知県名古屋市千種区不老町(名古屋大学東山団地構内)					消火設備	○	
完成期限		令和9年3月15日（月曜日）					給湯設備	○	
							ガス設備	○	
							特殊ガス設備	○	
							さく井設備	●	
工事概要	建物概要	棟名称	4号井戸						
		工事種別	さく井工事						
		構造・階数	－						
		建築面積	－						
		延面積	－						
		改修延面積	－		案内図・配置図等	別図による。			
	屋内設備工事	給水設備	○		その他	・●印の付いたものが対象工事項目 工事内容 4号井戸（口径300φ×187m）の浚渫、集水誘導（薬品洗浄）、 水中ポンプ整備、水位計取替及び揚水試験等を行う。			
		排水設備	○						
		消火設備	○						
		給湯設備	○						
		ガス設備	○						
		換気設備	○						
		空気調和設備	○						
		特殊ガス設備	○						
		自動制御設備	○						
		医療ガス設備	○						
		排煙設備	○						
		昇降機設備	○						

名古屋大学（東山）４号井戸整備工事

通し番号	図面番号	図　面　名　称	尺度（A1）	尺度（A3）
1	M － 001	表紙・図面リスト	N.S.	N.S.
2	M － 002	特記仕様書･案内図･配置図･機器表･井戸断面図	N.S.	N.S.

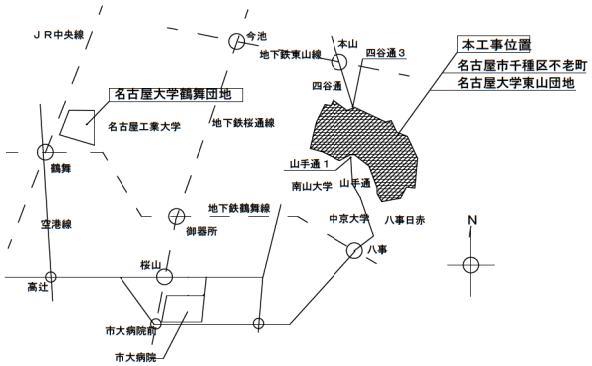
	課長	課長補佐	係長	担当	工事名 名古屋大学（東山）４号井戸整備工事	図面名称 表紙・図面リスト	図面番号 M － 001
					東海国立大学機構　施設統括部	(A1)　(A1：N.S) (A3)　(A3：N.S)	令和８年度

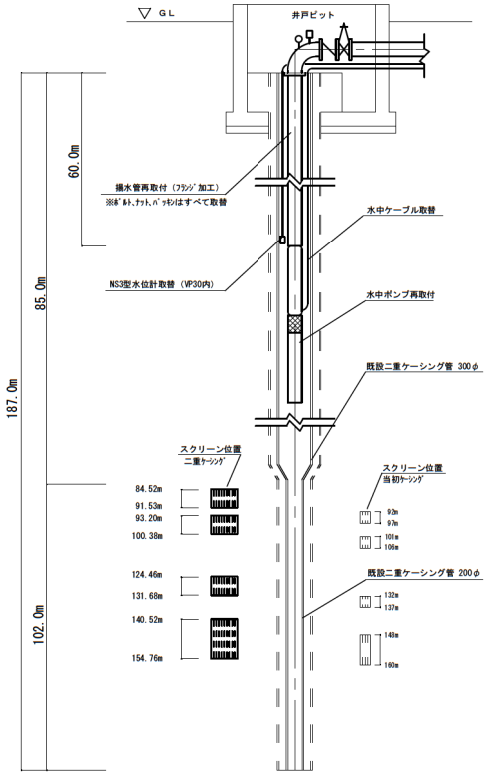
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

1．工 事 名	名古屋大学（東山） ４号井戸整備工事	
2．工事位置	愛知県名古屋市千種区不老町（名古屋大学東山団地構内）	
3．完成期限	令和9年3月15日	
4．工事の種類・規模等	さく井工事（４号井戸 口径：300mm×85m、200mm×102m、深度-187m）	
5．総 則	この工事の請負者は、東海国立大学機構発注工事請負等契約取扱要項別記第１号の	
	東海国立大学機構工事請負契約の基準、現場説明書、この特記仕様書及び図面１枚、	
	公共建築工事標準仕様書（統一基準）（機械設備工事編）（令和7年版）、文部科学	
	省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）、公共建築設備工事標準図	
	（統一基準）（機械設備工事編）（令和7年版）、文部科学省機械設備工事標準図	
	（特記基準）（平成31年版）及び工事記録写真撮影要領に基づき工事を施工する。	
6．完成図等	完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。	
	完成図：2部、機器完成図：2部、各種試験成績表：2部	
	工事写真（ｻｰﾋﾞｽ判ｶﾗｰ）：1部（A4ﾌｧｲﾙ）（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾃﾞｰﾀ含む）	
	※工事写真は、文部科学省が定めた「工事記録写真撮影要領」により撮影する。	
7．発生材の処理等	発生材は関係法令に従い構外搬出処分とする。	
8．工事概要	４号井戸	
	（１）浚渫及び集水誘導（薬品洗浄）	
	①作業前に水中カメラによりケーシングおよびスクリーンの状態を確認し記録する。	
	②ケーシング管のブラッシングと食渣を十分に行う。	
	③洗浄薬品を井内に投入し、攪拌等により井内に沈着した固形物を溶解して	
	集水誘導（清水の増通）を行う。	
	作業後はベーラーまたはエアリフトにて、清水に入れ替わるまで井内から排出させる。	
	④洗浄薬品は井戸・ろ過装置の機能維持、地下水の飲用及び環境に係わる影響を	
	考慮し、適切な薬品（リン不使用）を選定のうえ、品質証明を提出する。	
	⑤洗浄後、水中カメラによりケーシング及びスクリーンの状態を確認し記録する。	
	（提出時はデジタルデータとし、媒体はＤＶＤ等とする）	
	（２）水中ポンプ等整備	
	①既設水中ポンプは引上げ後、整備工場に持ち込み分解整備を実施する。	
	摺動部品の取替・修正、消耗品の取替を行った後、工場にて性能試験を実施する。	
	整備写真、揚水量、揚程(圧力)、電流値等を記載した性能曲線を提出する。	
	②揚水管はケレン（素地調整）・清掃後再使用すること（パッキン類、ボルト類は取替）	
	（３）水位計測装置取替	
	既設水位測定装置を撤去後、新たに水位測定装置を設置すること。	
	①水位表示装置（デジタル表示）、水位ケーブル取替	
	②水位受信部装置には外部出力（4～20mA）装置を有すること。	
	③水位計保護管（VP30）取替	
	（４）揚水試験	
	①揚水能力を測定するため、工事着工前に段階揚水試験を実施し、工事完了後に	
	段階揚水試験、連続揚水試験及び水位回復試験を実施する。	
	②揚水量の測定方法は、ＪＩＳＢ８３０２（ポンプ吐出し量測定方法）により	
	測定し、静水位、動水位、水温等を測定する。	
	③揚水試験に関する詳細は、標準仕様書（さく井設備工事 2.2.1揚水試験）に	
	準じて行うものとし、試験結果報告書を提出する。	
	④揚水試験後、有機塩濃度が1mg/ℓ以下になったことを確認した後、送水系統の	
	切替を行うこと。	
	（５）水質測定	
	①揚水試験完了後、水道法に基づく基準項目（原水40項目）の水質検査を実施する。	
	②水質検査に関する詳細は、標準仕様書（さく井設備工事 2.2.2水質試験）に	
	準じて行うものとし、検査結果報告書を提出する。	

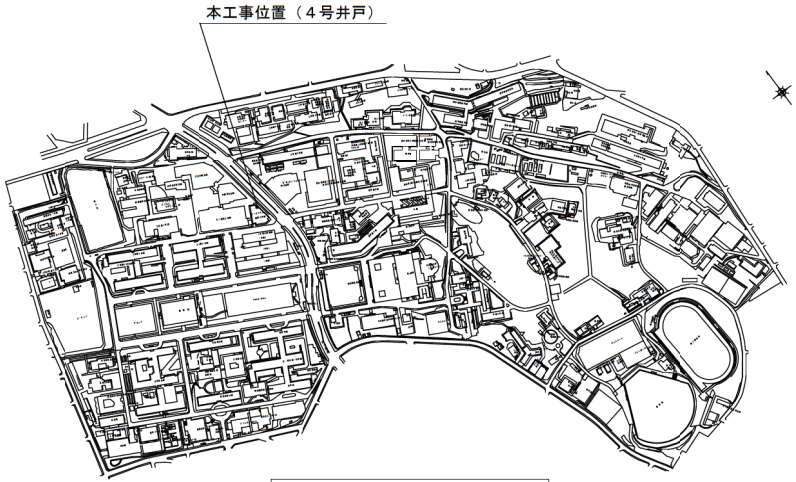
機 器 表

機器名称	機器仕様	台数	備考
水中ポンプ（既設）	型 式：深井戸用水中モーターポンプ（ＳＵＳ）	1	整備
	能 力：80φ×900L/min×70m×11kW		
	電 源：3φ-200V（ｽﾀｰﾃﾞﾙﾀ始動）		
	付属品：水中ケーブル（ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁ﾋﾞﾆﾙｷｬﾌﾞﾀｲﾔｺｰﾄﾞ EVCT-F 14mm2-3C） 65m×2本		

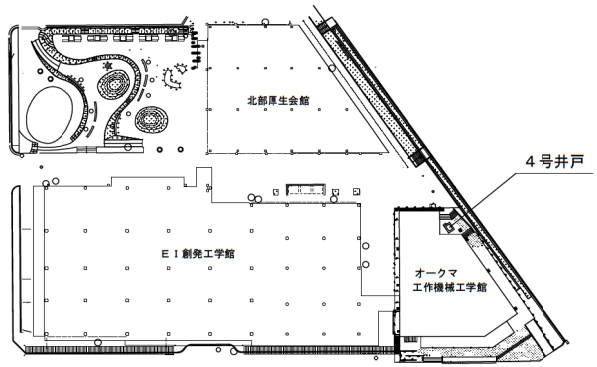




４号井戸断面図 NO SCALE



案内図 NO SCALE



４号井戸周辺配置図 NO SCALE

課長 杉本	工事名	名古屋大学（東山） ４号井戸整備工事	図面名称	特記仕様書・案内図・配置図・機器表・井戸断面図
		東海国立大学機構 名古屋大学	(A1) (A1：N.S) (A3) (A3：N.S)	図面番号 M－002 令和８年度